



衣類の収納方法 型崩れ防止と使い勝手

衣類はハンガーに掛けて収納すれば、たたむ必要がなくて、型崩れも防止できます。ただ、何でも掛けられればいいというものではありません。セーターなどのニット類をハンガーに掛けて吊るしておいたら、伸びてしまったという経験はないでしょうか。伸びる素材を長い時間ハンガーに掛けておくと伸びてしまいます。掛けて収納する衣類とたたんで収納する衣類は区別しなければいけないのです。

◎ニットはたたみ、ポリエステルは掛ける

セーターなどのニット類は、たたんで収納するのがいいでしょう。大切にしたいニット類はキチンとたたむべきですが、それ以外はロール状に巻いて引き出しに立てると、たくさん収納できます。

ニット類以外のポリエステルやレーヨン素材のブラウスなどは、ハンガーに掛けるのがいいでしょう。ジャケットやストラップスも同様です。

衣類をハンガーに掛けて収納する際の注意点ですが、針金ハンガーやクリーニング店が使うようなプラスチックの平べったいハンガーは避けます。針金ハンガーはたくさん掛けられるのですが、衣類がゆがんだり、ハンガーの跡が衣類に残ったりします。肩の部分が厚いハンガーを使えば、衣類の型崩れを防ぎます。さほど高いものではありませんので、市販のハンガーを使ってください。

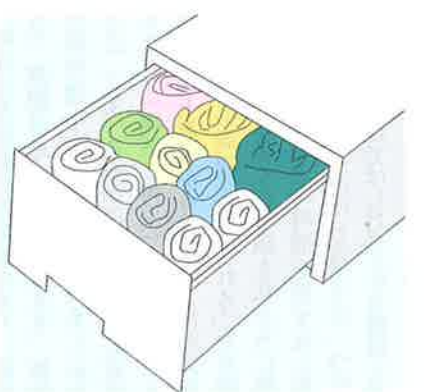
◎吊るす量を考える

衣類をハンガーに掛けて収納しても、ぎゅうぎゅう詰めに掛けるとシワができてしまいます。ある程度の間隔をあける必要があります。衣類と衣類の間に、手が楽に入って出し入れできる間隔ならシワになりにくいでしょう。

衣類が多く、どうしてもたくさん掛けたいという場合には、掛ける際、ひと手間をかけます。衣類と衣類の間を手で広げ「十分な隙間を空けてから」掛けるのです。誰でもしていることかもしれませんが、こうすれば型崩れしにくく、きれいに掛けることができます。

絶対シワにたくない大切な衣類は、洋服カバーをかけてから吊るすようにします。こうすれば型崩れせず、出し入れもスムーズ。また、ホコリも付きません。

◎下着は個人別、種類別に収納
下着は個人別に収納すると分かりやすいでしょう。下着の数は個人の好みなどによって異なりますが、増えすぎないようにするには、下着の収納スペースをあらかじめ決め、そのスペース以上に数を増やさないように工夫します。



●収納の定番、巻いて立てる



●下着は種類別に仕切る

読者からのお便り

この冬も節電

大阪府和泉市 谷川隆三様
この冬も節電をして、少しでも環境に気をつけたいと思っています。何か、いいアイディアがあれば教えてください。

ぽっぽまつり、行きました

滋賀県東江市 清水順子様
11月18日、ぽっぽまつりに行ってきました。いろいろなメーカーさんの給湯器を一度に見られてよかったです。いただいた豚汁、とっても美味しかったです。ご馳走さまでした。たくさんの人、人でにぎわっていました。

ガスコンロのご飯

滋賀県近江八幡市 清水はるみ様
ガスコンロ購入の際に頂いたガス炊飯器で炊いたご飯は、甘みがあって大変おいしいです。



グリルが気に入りました

茨城県小美玉市 盛くに子様
商品案内を拝見しました。テーブルコンロ、お魚が好きなのでグリルが気に入りました。返さずに焼ける(両面焼き)のは

便利ですね。今、考え中です。
母のことを思い出して

滋賀県彦根市 近久重様

にほん語探偵局「レモンティークー」を読んで、亡き母のことを思い出しました。レモンティーカップと言っていたのを聞いて、おかしな発音をするなあと思っていました。今生きていたら87歳になります。「チー」じゃなくて「ティー」や、とよく注意しましたが、母の発音が本来の日本語だったんですね。驚きです。



便利なガスファンヒーター

滋賀県彦根市 中井信美様

一昨年からガスのファンヒーターをレンタルで使用しています。急に寒くなった日、押入れから出してきて、ホース、コンセントをつなぐだけですぐOKととても便利でした。

いくつになっても勉強

松山市 岡崎令子様
いつも楽しく読ませていただいております。人間いくつになっても勉強させていただけると、自分ながら感心しております。